

がんの診断・治療に向けた新規3次元培養細胞リソースの構築

1. 研究の対象

2018年9月から2023年3月31日までの間に、京都大学医学部附属病院で大腸癌、肝臓癌などの消化器癌の診断で受診された方のうち、医学研究課題「がんの診断・治療に向けた新規3次元培養細胞リソースの構築」の説明を受け文書で同意された方。

2. 研究目的・方法

(目的)

CTOS法は私たちの研究グループで開発したがん細胞培養法です。CTOS法によって患者さんのがん組織から純粋ながん細胞を調製することができます。また、CTOSは保存したり、培養で増殖させたり、実験動物に腫瘍を作らせたりすることができます。この培養法で得られたがん細胞といただいた血液を用いて、がんの診断・治療に関する研究を行うことがこの研究の目的です。本研究により、がんの仕組みについて理解が深まり、新しいがんの診断・治療法の開発につながる可能性があります。

(方法)

がん組織からCTOS法を用いてがん細胞を分離します。分離したがん細胞を培養したり、実験動物に移植したりして、がんの仕組みを解析したり、診断・治療の助けになるかどうかを調べます。実験例としては、治療薬のCTOSに対する効果を試験管の中で評価したり、癌細胞の表面構造（糖鎖構造など）が正常細胞とどのように違うのかを解析したり、癌細胞を画像診断に応用できるかどうかを試験の中で調べたり、腫瘍の動物実験モデルとしてCTOSをマウスに移植するための有効な方法を探したりします。CTOS調製後、回収率、生存率、増殖率などからそれぞれの研究に適切であると判断される症例のCTOSを用います。がん隣接する正常組織はがん細胞との比較解析に用います。本研究の研究期間は2018年9月から2025年3月31日です。

なお、この研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け承認され、医学部附属病院長の許可を受けたものです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、血液検査データ、画像検査データ 等

試料：手術で摘出した組織、血液あるいは胸水・腹水などの体液 等

4. 外部研究機関等への試料・臨床情報の提供

患者さんからいただいた貴重な試料・情報は、この同意で特定される研究の終了後も京都大学大学院医学研究科内に保管され、将来の研究のために用いられる可能性があります。また個人のプライバシーが守られる範囲で、他の研究機関との共同研究として試

料・情報を提供する可能性があります。これらの将来の研究は、新たに倫理委員会で厳正に審査・承認された場合に限り行われます。最終的には、広く医学研究に役立てるため、試料・情報の収集・分譲を行う機関に寄託する予定としています。

現在のところ、外部機関への試料・情報の提供は行っていません。

5. 研究責任者

京都大学大学院医学研究科 クリニカルバイオリソース研究開発講座
特定教授 井上 正宏

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

すでに本医学研究への参加に同意いただいた場合でも、研究期間中のいつでも同意を取り消すことができますのでお問い合わせください。この場合も今後の診療に差し支えることはありませんし、不利益を受けることも一切ありません。同意を取り消された場合には、試料は廃棄されます。ただし、同意を取り消された時点の研究結果については廃棄いたしませんのでご了承ください。

照会先および研究への同意を撤回する場合の連絡先：

1) 研究課題における相談窓口

京都大学大学院医学研究科 クリニカルバイオリソース研究開発講座

担当者：特定助教 近藤 純平

〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 46-29 医薬系総合研究棟 503 号室

Tel: 075-752-7512 Fax:075-752-7513 E-mail: kondo.jumpei.2n@kyoto-u.ac.jp

(お問い合わせは、Fax、e-mail 又は郵送でお願いいたします。間違いを防ぐため、これ以外のお問い合わせ方法では、ご対応できかねますのでご注意ください。)

2) 研究機関の相談等の窓口

京都大学医学部附属病院 相談支援センター

Tel : 075-751-4748 E-mail : ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp